

研究プロジェクト6 「立教学院の戦後」

宮川 英一

新規のインタビュー調査については、新型コロナウイルスの蔓延により、今年度は中止した。来年度以後は、立教関係者へのインタビューを実施し、『立教学院一五〇年史』編纂の資料とする予定である。

また、立教大学の戦後史の基礎史料である「立教大学庶務課文書」については、昨年度に基礎的な整理が完了し、現在、本資料に所収される細目史料を点検しつつ、センターの内部用のデータ・ベースに同資料の細目レコードを蓄積する作業をすすめている。なお、同資料の保存のため、今年度より、保存容器の入れ替え作業を進めている。加えて、学内発行紙誌の『ニュース・セントポール 立教大学校友会会報』（第一号、一九五三年より第二七四号、一九七六年、号外含む）およびその後掲誌である『セントポール 立教大学校友会会報』（第二七五号、一九七六年より第四三七号、二〇一六年）の紙面のデジタル化を実施し、同資料の第一一〇号から第二四六号までの記事見出し一覧データを作成した。同デー

タは内部用のデータ・ベースに蓄積して、年史編纂の基礎資料とした。【宮川】

以上